

2021年度のゴール

事業結果

地域  
みらい  
3年

- 合説参加者2808人
- 2021参画校70校、2022参画80校

- 合説参加者1600人(イベント参加者2200人)
- 2021参画70校、**2022参画88校見込み**(㊦)

地域  
みらい  
365

**【2期留学生募集(目標)】**

会員登録529人  
留学希望106人  
応募者数53人  
留学生数34人

- 希望者は目標超えるも、教育課程のミスマッチなど応募までいかない生徒が多く留学生数は未達
- 内閣府補助終了後(2025年)の持続性に課題有。

**【2期留学生募集(結果)】**

会員登録540人 (対目標102% 対前年120%)  
留学希望106人 (**対目標100%** 対前年216%)  
応募者数43人 (**対目標81%** 対前年143%)  
留学生数29人 (対目標85% 対前年121%)

## 2021年度のゴール

## 事業結果

しまね

### 【①全県の仕組み・コンソ単位のデザイン支援】

・各学校・コンソのグランドデザイン(指標)、3ポリ・県外生徒数、及び、推進体制の構築

### 【②県単位の次年度への仕込み】

・各自治体と県で、卒業生コミュニティ発足支援の予算組み  
・チャレンジファンド事務局発足

### 【③モデル校を通じた探究の生態系の構築】

・高大連携推進員を通じて進路検討会に当たり前に参加できており、県内全校で総合選抜の合格に向けたノウハウの形式知化ができています  
・探究・キャリア支援のオンラインプラットフォームの開発機能とオペレーションが明確になっており、次年度から開発に着手できる  
・自治体/学校やコンソ単位の卒業生コミュニティができている

### 【①全県の仕組み・コンソ単位のデザイン支援】

・全県立高校のグランドデザイン、及び、コンソーシムが完成

### 【②県単位の次年度への仕込み】

・卒業生還流モデル事業が発足(6自治体)  
・チャレンジファンド事務局を発足。3月末にプログラムを試行実施(50万円の獲得見込み)

### 【③モデル校を通じた探究の生態系の構築】

・総合型選抜の合格に向けた「進路探究ゼミ」を、推進員の拠点校で試行実施(約80人に提供)  
・探究・キャリア支援のオンラインプラットフォームの開発機能とオペレーションが明確になり、次年度からシステム立ち上げ、試行実施に着手(4校に提供予定)  
・エリアごとでの高3フェス、卒業生が関わる探究フェスタを実施。  
卒業生のコミュニティサイトも立ち上げ、コミュニティの母数を増やす(ユニーク150人)

2021年度のゴール

事業結果

R&D

- 【県・伴走】県伴走展開3県
- 【国・評価】文科新事業構築
- 【国際・WB】JICA事業の開始

- 【県・伴走】県伴走3県(高知・佐賀・群馬)決定
- 【国・評価】文科新事業(CN人件費付事業24校、CN構築事業2000万/年)、183校(66809名)が評価活用、評価活用のCN・留学エビデンスレポート
- 【国際・WB】ウェルビーイング指標を評価へ装着、JICA事業開始

CN

- 22年度参画20校受注目標
- 22年度から採用配置育成支援がスタートできる状態

- 22年度参画校10~12校見込み(達成率50-60%)  
※島根県の配置研修のみ参画する学校除く
- 2月に第一回受け入れ側研修を開催、4月から採用サイトリリースとスタートできる状態ができた

FR

- 22年度3,000万に向けた戦略・戦術検討
- マンスリーサポーター新規400人800万円
  - VP・大口/中口(ふるさと納税)寄付1,300万円
  - 自動販売機100台1,000万円

- マンスリーサポーター新規19人300万円(継続率90%)
- VP就任1就任700万円、ふるさと納税280万円  
→FR合計1,280万円
- 自動販売機2022年4月設置見込25台
- 企業版ふるさと納税開発